

経営比較分析表（令和4年度決算）

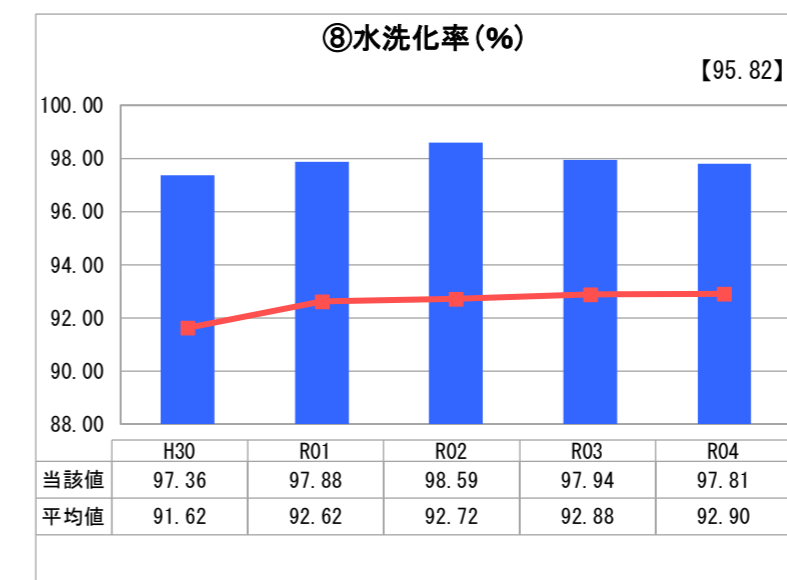
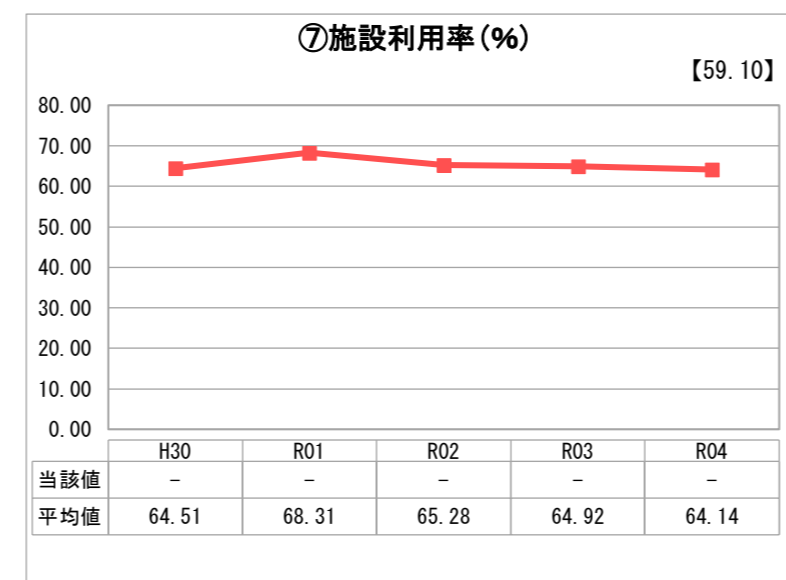
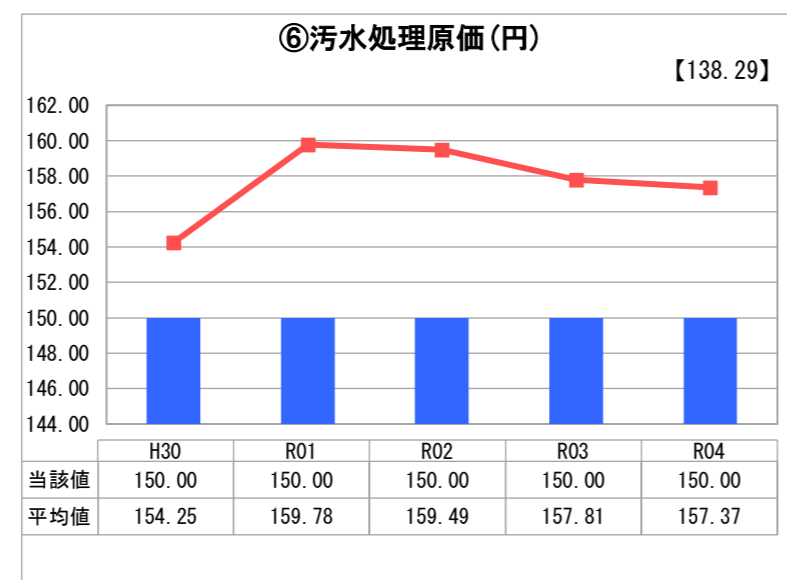
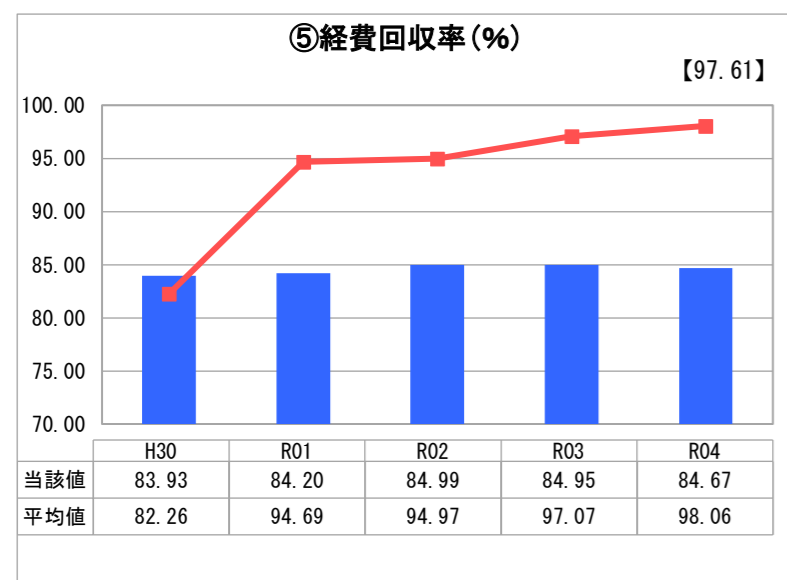
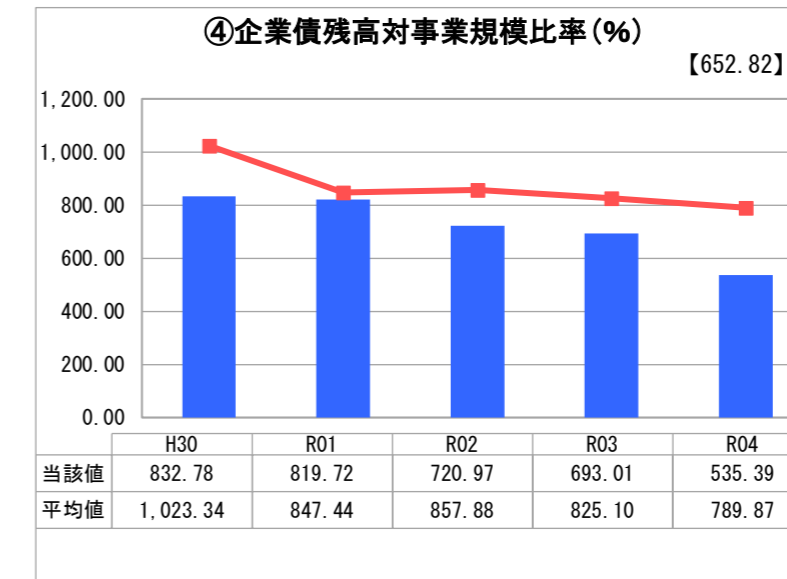
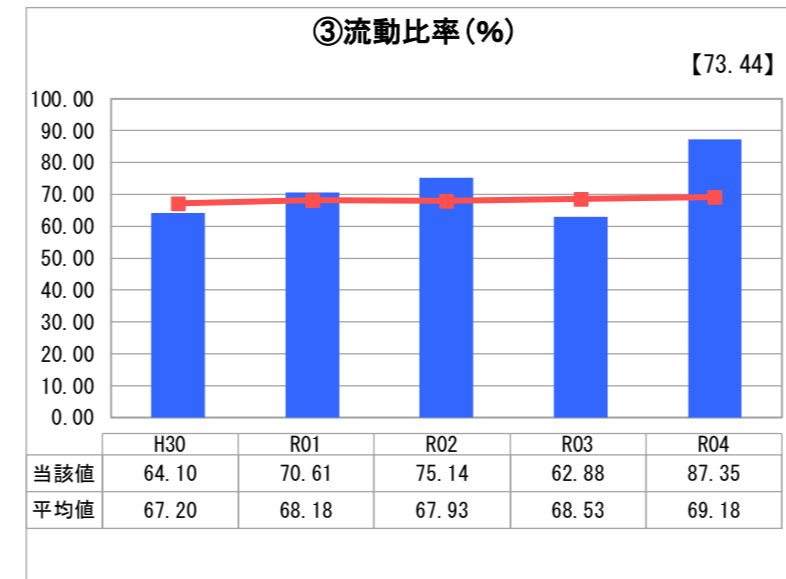
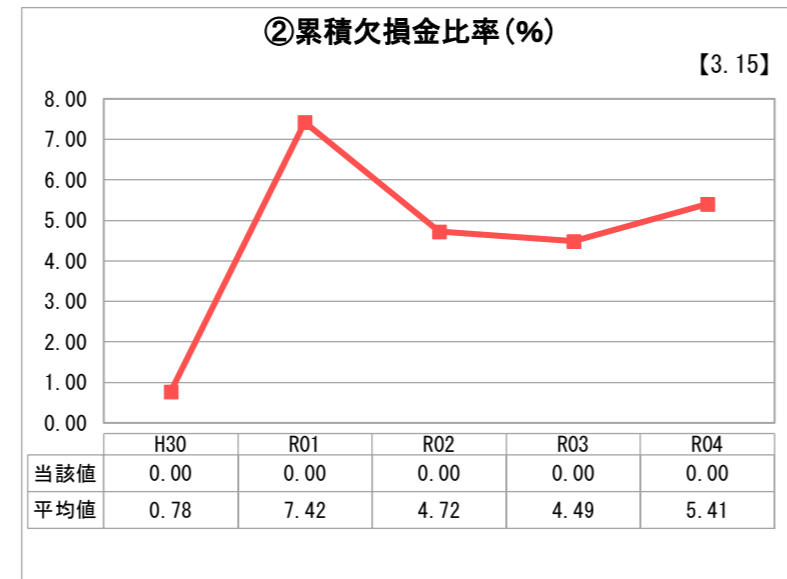
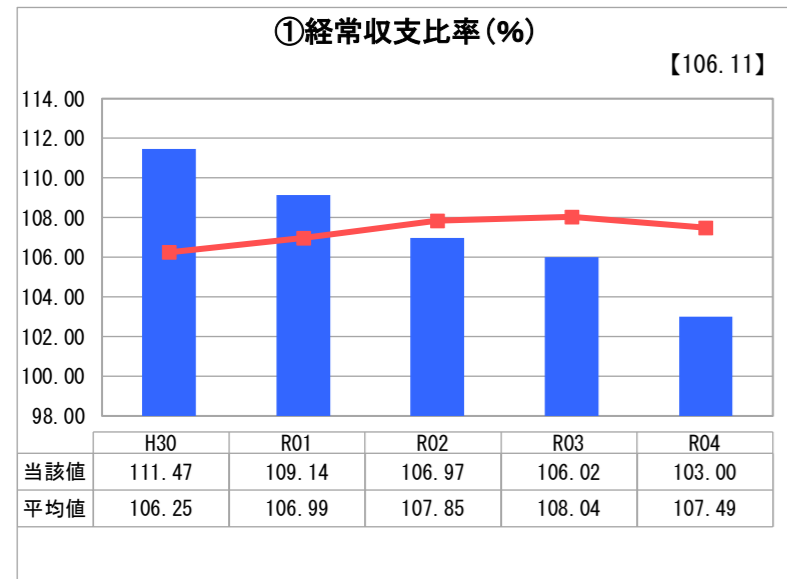
神奈川県 南足柄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.25	75.56	89.74	1,779

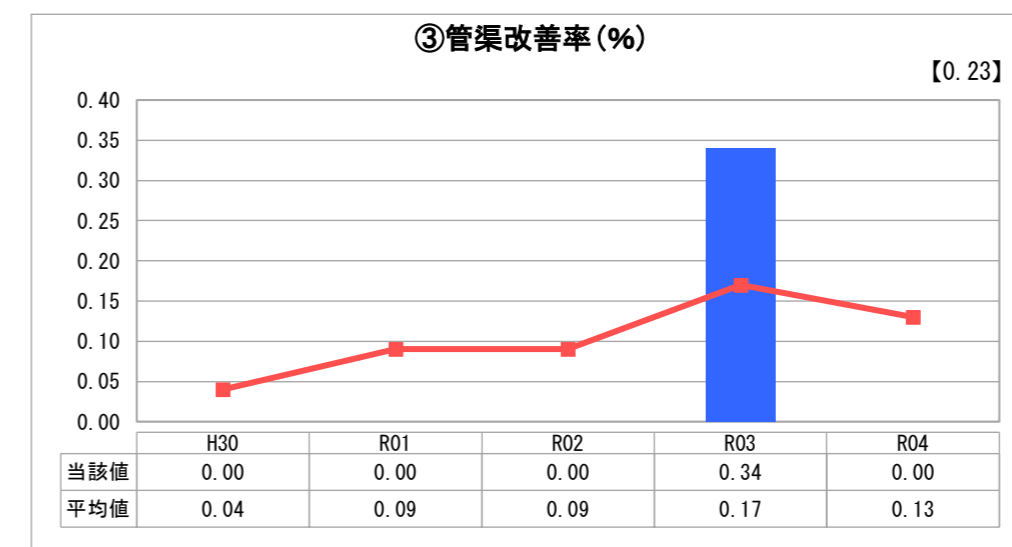
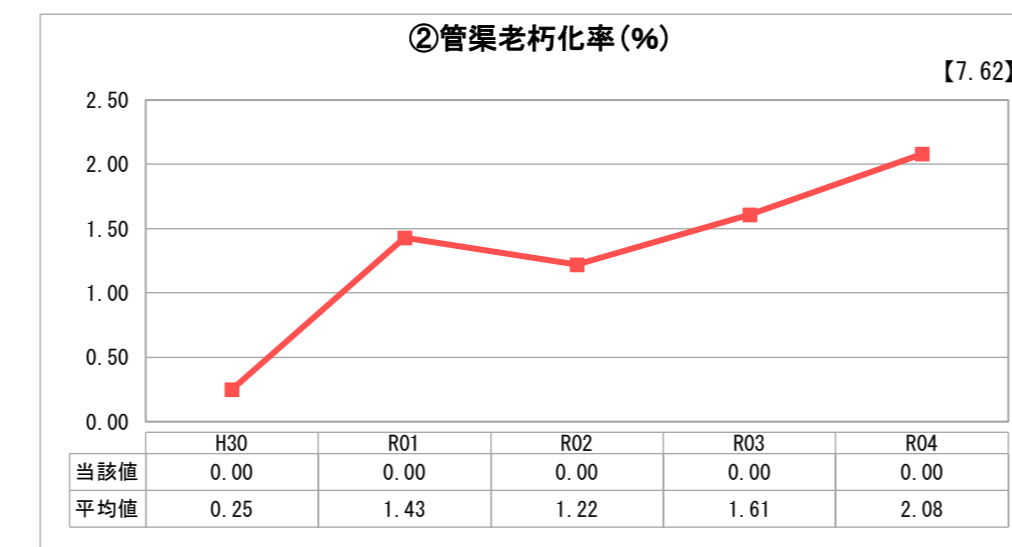
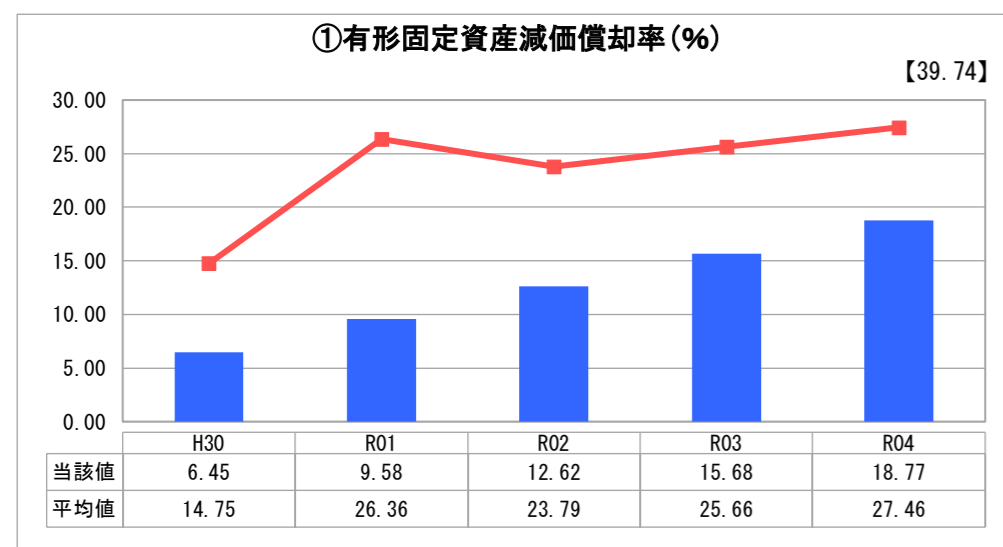
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,057	77.12	532.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,847	6.31	4,888.59

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は前年度より約3ポイント減少しましたが、100%を超えています。類似団体や全国平均より低いものの②累積欠損がない状態であるため、経営状況は比較的健全と言えます。

③流動比率は前年度より大きく改善しましたが、短期的な債務に対する支払い能力は余裕がない状態です。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均よりも低くなっています。今後は未普及地域の整備に加え、老朽化した管渠の更新も想定されることから、企業債借入額の増に伴って、比率が高まることと予測されます。

⑤経費回収率は、類似団体や全国平均よりも低く、⑥汚水処理原価と使用料単価で差損が生じている状態です。使用料で賄うべき経費を使用料で賄えるよう、適正な使用料収入の確保が必要となっていますが、コロナ禍による社会情勢の影響を受け使用料改定が延期となっています。

本市は、処理施設を有していないため、⑦施設利用率はありません。

⑧水洗化率については、接続率の向上に努め、類似団体や全国平均よりも高い数値を維持しております。

2. 老朽化の状況について

平成29年度に地方公営企業法を適用したことにより、累積減価償却費はまだ低く、①有形固定資産減価償却率も低くなっておりませんが、今後、上昇していく見込みです。

現時点では、耐用年数を超える管渠がないため、②管渠老朽化率はありませんが、近い将来、本格的な更新時期を迎えるため、老朽化率の発生が見込まれます。財源と投資のバランスを考慮しながら、計画的かつ効率的に施設の老朽化対策を行っていく必要があります。

全体総括

本市は、工場排水など企業の排水量の動向に大きく影響を受けています。

令和4年度中には大口事業者が操業を終了し、利用料収入が減少しました。令和5年度以降の収入減少はより一層厳しいものと予想され、他の企業の排水量もコロナ禍前ほど戻っていない状況です。

未普及地域の整備に並行して、老朽化に伴う更新事業も本格化することから、将来の更新事業に向けた資金の確保が必要となります。

今後も財政推計を注視しながら、適正な維持管理費や使用料について継続的に検討を行い、安定した事業運営を目指してまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。